

Session!!—裁判所広報サミット—

with 和歌山信愛中学校

* 開催報告 *

平成28年5月31日（火），憲法週間記念行事として和歌山信愛中学校3年生の皆さんとともに午前，午後の二部制イベント「Session!!—裁判所広報サミット—」を開催しました。和歌山地家裁初の，学校とのコラボレーションイベントということで，担当職員もやや緊張しながら本番を迎えました。午前の部，午後の部を合わせた当日の様子を，ダイジェストでお届けいたします。

★所長挨拶・イントロダクション

行事の開催に先立ち，藤下所長が参加される中学生の皆さんに挨拶しました。その後，司会者からイベント概要の説明を行い，さっそくプログラムに移りました。



★班別討議

本行事のメインは，「中学生と裁判所職員がコラボレーションして裁判員制度広報イベントの企画案を考える」ことにあります。具体的には，中学生の皆さんに班ごとに1つの企画案を考えていただき，裁判官に向けたプレゼンテーションをしていただきます。



班別討議では，事前に考えてきていただいたワークシートをもとに，企画案をまとめていただきました。誰に来てもらう？どんなタイトルにする？イベントの内容は？ポスターのデザインは？

いろいろな切り口からどんどんアイデアが出て，進行役の職員も思わず聞き入ってしまうほど充実した内容となりました。

★企画案発表

いよいよ、各班の代表者の方から企画案を発表していただきます。
同世代にターゲットを絞って、どんな企画なら参加したいかを考えて発表したり、インパクトのあるポスターデザインを考えたり、裁判所のゆるキャラを描いたり、たくさんの素敵なアイデアを出していただきました。



有罪? 無罪?
裁判所イ事件発生!!
まわるのは君だ!!
～対象年齢～
小学4年生～6年生、
25人まで参加可能。
～内容～
○事件が裁判所で起きた設定イ
ドラマを撮影したものを観よう
↓
○見るだけイなし、実際に体験するこ
をメインに初事件についての裁判を
一人一人役を決めて行う。
有罪 無罪 人権 裁判官 検察官
性 裁判官役、証人役の衣装提供



★裁判官コメント

皆さんの発表をふまえて、実際に裁判員裁判を担当している裁判官からコメントをいただきました。

裁判員制度の趣旨は、裁判に国民の意見を反映させることであり、特にこれからを担う若い世代が参加することで裁判員制度がよりよいものになると裁判官が熱弁をふるいました。

中学生の皆さんに、裁判官からみた裁判員裁判の現状と、広報の大切さについてご理解いただけたのではないのでしょうか。

イベント終了後のアンケートでは、裁判員裁判をより知ることができた、広報イベントを企画する機会はなかなかないので良い経験になったなどの感想をいただきました。

本イベントが、参加された中学生の皆さんが裁判員制度や司法に興味を持つきっかけとなれば幸いです。

ご参加いただいた信愛中学校の皆様、ありがとうございました。

